



子どもたちの健康のために!



市では、中学校卒業までの医療費を無償(保険適用の診療にかぎる。)としています。これは、先輩パパ・ママのリクエストにこたえて実現し、「市民予算枠」を財源としています。市民予算枠は、限られた財源を有効に活用しながら、子ども医療の無償化のほか、いつまでも住み続けたい高浜市をつくるための事業に使われています。子どもたちの健やかな育ちのためには、安心して医療を受診できる環境のほか、豊かで暮らしやすい安全・安心なまちづくりも大切です。

子どもたちの将来にむけて財源をいかしていくためにも、医療の適正な受診に協力してください。

夜間に医療相談をしたいとき

★愛知県小児救急電話相談

症状に応じた適切な医療相談が受けられるよう、看護師(困難な症例は医師)が対応する保護者向けの電話相談です。

相談時間 毎日
午後7時～11時

☎ #8000番(短縮番号)
(全国統一番号)

※ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話などで短縮番号を利用できない場合は☎052-962-9900

※相談は無料ですが、通話料は相談する方の負担となります。

実施主体 愛知県

受診先が見つからないとき

★愛知県救急医療情報センター

かかりつけ医師が不在で、近くの休日(夜間)診療所・当番医も見つからない場合に問い合わせてください。

緊急時に開いている病院、近くの病院、専門の病院などが確認できます。

受付時間 年中無休、24時間
☎36-1133

実施主体 社団法人愛知県医師会

★愛知県救急医療情報システム

インターネットにより、受診可能な医療機関を検索できるシステムです。なお、受診の際は、事前に医療機関に連絡してください。

<http://www.qq.pref.aichi.jp/>

実施主体 愛知県

育児や母子の健康に不安があるとき

★育児もしもしキャッチ

保健師、助産師などの専門相談員が育児相談、母と子の健康に関する相談に応じる専門電話です。

相談時間 火～土曜日
午後5時～9時

※祝日、年末年始を除く。

☎0562-43-0555

実施主体 愛知県

子どもの病気に関する判断の目安やアドバイスなどを紹介

☆社団法人日本小児科学会子どもの救急
<http://kodomo-qq.jp/>

☆愛知県小児科医会
<http://aichi-pediatric-ass.jp/>

問合せ先 国市民窓口グループ ☎52-1111 (内線227・217)



医療機関の適正受診を!



休日や夜間の救急医療は、緊急性の高い重症の方の治療を主な目的としています。必要な方が安心して受診できるように、また、かしく医療機関を利用できるように、次のことに留意しましょう。

◆時間外、休日診療はなるべく避けましょう

休日や夜間の救急医療機関は、緊急性の高い方の受け入れを目的としています。また、医療費も高い設定となっています。平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。

◆医師のかけ持ちは控えましょう

同じ医療や検査の繰り返しは、医療費が余分にかかるだけでなく、かえって身体に悪影響を与えてしまうなどの心配があります。現在の治療に不安などがあるときは、医師と話し合ってみましょう。

◆かかりつけ医師をもちましょう

何でも相談できる「かかりつけ医師」をもって、気になることがあったら、まずは相談しましょう。

◆薬のもらいすぎに注意しましょう

薬が余っているときは医師や薬剤師に相談を。また、薬の飲み合わせによっては、副作用を生じることがあります。「お薬手帳」で、すでに処方されている薬を医師や薬剤師に伝えるなど注意しましょう。

◆ジェネリック薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は新薬(先発医薬品)と同等の効果で価格が安いというメリットがあります。医師や薬剤師と相談しながら、積極的に活用しましょう。

問合せ先 国市民窓口グループ ☎52-1111 (内線261・262)